























・平均自立期間の市町村間格差(最大値と最小値の差)を平成27年と令和2年で比較すると、格差が男性65歳(平成27年:最大値18.78年、最小値16.47年、令和2年:最大値19.92年、最小値16.14年)では1.47年、75歳(平成27年:最大値10.99年、最小値9.30年、令和2年:最大値12.21年、最小値9.79年)では0.73年増加した。女性では65歳(平成27年:最大値22.22年、最小値19.16年、令和2年:最大値22.29年、最小値19.47年)で0.24年、75歳(平成27年:最大値13.32年、最小値10.74年、令和2年:最大値13.51年、最小値11.02年)で0.09年減少した。

平均要介護期間の市町村間格差は、男性は65歳(平成27年:最大値1.99年、最小値0.95年、令和2年:最大値2.21年、最小値1.20年)は0.03年減少した、75歳(平成27年:最大値2.03年、最小値0.95年、令和2年:最大値2.36年、最小値1.24)では0.04年増加した。女性は65歳(平成27年:最大値4.23年、最小値2.60年、令和2年:最大値3.99年、最小値2.29年)は0.07年、75歳(平成27年:最大値4.29年、最小値2.61、令和2年:最大値4.11年、最小値2.28年)では0.15年増加した(表1、2、図1)。

・千葉県の平均自立期間は、平成27年から令和元年まで男女とも有意に増加していた。しかし、令和2年にかけて、男性では増加していたが、 女性は減少した。

平均要介護期間は男女とも令和2年にかけて減少し、最も短くなった(図2、3)。

・千葉県の平成27年から令和2年の平均自立期間の男女差は、65歳(平成27年: 男性17.67年、女性20.49年、令和2年: 男性18.16年、女性20.97年)0.01年縮小し、75歳(平成27年: 男性10.24年、女性11.79年、令和2年: 男性10.70年、女性12.25年)では変わらなかった。

千葉県の平成27年から令和2年の平均要介護期間の男女差は、65歳(平成27年: 男性1.62年、女性3.39年、令和2年: 男性1.57年、女性3.29年)では0.05年縮小し、75歳(平成27年: 男性1.66年、女性3.45年、令和2年: 男性1.60年、女性3.33年)では0.06年縮小した(図4)。

・千葉県の平成27年から令和2年の平均自立期間の増加は、男性は65歳で0.50年、75歳で0.46年、女性では65歳0.48年、75歳で0.46年となった。

平成27年から令和2年の平均要介護期間の減少は、男性は65歳で0.05年、75歳で0.06年、女性では65歳で0.10年、75歳で0.11年となった(図5)。

・千葉県の平均余命に対する平均自立期間の割合を平成27年と令和2年で比較すると、男性は65歳は0.43%、75歳は0.95%増加した。女性は65歳は0.65%、75歳は1.23%増加した(図6)。